

基本情報

人口：1,693万人（2023, INEC）
 首都：ピチンチャ県キト市
 言語：スペイン語（他にケチュア語、シュアール語等）
 主要産業：石油、バナナ、カカオ、コーヒー、エビ
 GDP：1,154億ドル（2022, IMF）
 一人当たりGDP：5,590ドル（2022, IMF）
 経済成長率：2,7%（2023, IMF）

国別開発協力方針 重点分野

- (1) 経済基盤整備
 - 持続的発展を目指した**エネルギー開発**
 - 産業開発・**競争力強化**
- (2) 格差是正・包摂的な社会の実現
 - 格差是正と社会的包摂
- (3) 環境保全・防災
 - **防災**
 - 環境保全

特徴的な現地の課題

課題1：競争力強化

- 非石油産品の輸出に占める上位5品目（エビ、バナナ、魚介類、生花、カカオ）の割合（66%/2021年）が変わらない中、輸出促進に向けた戦略策定と同戦略に基づく施策の実施が必要。
- 上記主要輸出品以外の輸出産業育成が必要。



ファイン・アロマ・カカオ

課題2：防災

- 環太平洋地震帯に位置する地震・津波多発国であり、火山噴火や山がちな地形から地滑り等による災害が頻発。
- 災害リスク特定、早期警報システム（気象観測体制強化含む）確立、避難計画策定、住民啓発等の必要性に加え、砂防施設などの構造物対策にニーズ。



ドローンによる3D地形図作成

課題3：エネルギー

- 水力発電の割合が高く、乾季に電力需要を賄えない状況が発生。電源の多様化（太陽光、地熱等）に加え、省エネルギー対策の推進が必要。
- 交通セクターからのGHG排出が多く、同セクターの再生可能エネルギー、省エネルギー対策にもニーズ。



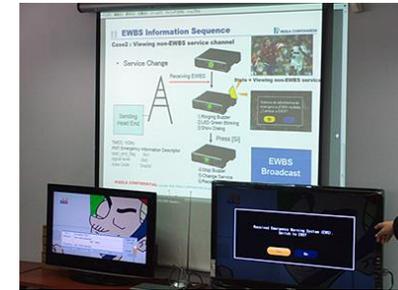
チャンビロ地熱発電施設

現在実施中の案件

これまでの主な民間連携案件

案件	【中小企業・SDGsビジネス支援事業～普及・実証・ビジネス化事業】 カカオ高付加価値のためのトレーサビリティプリンティングシステム普及・実証・ビジネス化事業
企業	株式会社シンメイ（東京都中央区）
契約期間	案件化調査：2021年4月～2022年6月 普及・実証・ビジネス化事業：2023年5月～2025年4月
対象国・地域：	エクアドル共和国キト市(ピチンチャ州)、グアヤス州、ロス・リオス州
カウンターパート機関	エクアドル共和国生産貿易投資漁業省・農産業庁、農業畜産省、カカオ輸出協会（ANECACAO）、カカオ生産者協会（UNOCACE）
案件概要	「トレーサビリティ・プリンティング・システム」事業に関する案件化調査。カカオ産業での製品・システム販売でビジネス展開を図り、カカオ・フードバリューチェーンの安全性、情報の信頼性、業務効率性の向上、ひいては、エクアドル国の小農支援（格差是正）、輸出産業の多角化への貢献を目指す。
提案製品・技術	独自開発の特殊プリンタや、ICタグ、リーダー、クラウドシステム、アプリケーションなどから成る「トレーサビリティ・プリンティング・システム」。ID発行管理で、生産者、加工・物流・小売の高度なトレーサビリティ（追跡・遡及）が可能となり、情報の透明性、製品の安全性・信頼性向上に貢献。また、各工程における業務効率化や品質向上にもつながる。

年度	スキーム	調査・事業名	法人名	契約期間
2019	案件化調査（SDGs型）	EWBS機能付きセットトップボックスの流通に向けた案件化調査	(株)ピクセラ	2019年12月～2022年2月
2018	普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）	UHC達成に向けた人材育成のためのシミュレーション教育普及・実証・ビジネス化事業	(株) 京都科学	2019年12月～2023年4月
2018	普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）	情報弱者のテレビ放送へのアクセスを保障する安心安全のための放送・通信インフラ普及・実証事業【インフラ整備技術推進特別枠】	(株)アステム	2019年11月～2023年2月
2016	案件化調査（中小企業支援型）	視聴覚障害者用TV放送補完システムの防災への活用に関する案件化調査	(株)アステム	2017年6月～2018年5月



本件に関する連絡先

■ JICA エクアドル事務所

ec_oso_rep@jica.go.jp

担当：由井拓帆

yui.takuho@jica.go.jp

副担当：松本博富

matsumoto.hirohisa4@jica.go.jp